

オープンした「おもしろ科学実験室」は、子供だけでなく理科の先生にも大きな反響がありました。そんな恵まれた環境のなか、**湊田紘太郎さん**(デザイン学部建築科3年)は、「いつか自分の設計するビルが建設されれば」と勉学に向う忙しい毎日。献血への思いも人一倍です。第36代共済会総務委員会に所属し、献血活動に参加しています。「献血はよくボランティアといわれますが、僕にとっては必要なもの。輸血を必要としている方々がたくさんおられ、いつ何時、家族も僕も必要になるかわからないですからね。」と積極的な姿勢。**早川一輝さん**(デザイン学部建築科1年)は、「僕は湊田先輩に引っぱられ、献血を開始しました。社会貢献として誇りに思います。」と話します。今秋の献血活動は、リバーウォークで地域の方たちを巻き込む大規模なもの。プレイルームを作って、子供たちにも親御さんにも献血の理解を深めてもらいたいと、献血者100人を目指します。



湊田紘太郎さん



早川一輝さん

自分を表現したいからフォークソング。

湊田さんも、早川さんも実は、フォークソングサークルに所属しています。気に入った曲をマスターしながら基本練習を進め、仲間たちとセッションすることもしばしば。新入部員の上地正人さんは、「少しでも持歌を増やし、人前で演奏したい。」といい、「自分の気持ちを表現したいから歌う」と同じく新入部員の中野知久さん。ぐいぐいと先輩に引



西日本工業大学フォークソング部

っぴられて、ギターをつま弾き歌を歌ううち、自分の気持ちに素直になっていたとフォークソングの魅力を異口同音に語ってくれました。



北九州の大学生たちのそれぞれのキャンパスライフ。勉学、趣味、サークル、そして献血活動・・・いつしか、ひとつの人生を形成して行く時、美しい音色を奏でるに違いありませんね。



「福岡県北九州赤十字血液センターでは、春・夏・冬の年3回、移動採血バスで大学にお邪魔しています。献血のご協力をお願いします。学生の皆さんたちの熱い気持ち、お待ちしております。」